

12/28 (木) の発表

報道発表資料の配付日時 12月28日 (木) 15時00分

発表項目 (行事名)	道内のインフルエンザの流行状況について (第51週)		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<ul style="list-style-type: none">○ 道では、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)第14条に基づく、発生動向調査を実施しております。○ 現在、道内でインフルエンザが流行しております。 感染拡大防止に向け、予防対策に努めていただきますようお願いいたします。○ 詳細は、別紙のとおり。		
参考	<ul style="list-style-type: none">○ 全道のインフルエンザ流行状況は、北海道感染症情報センターのホームページでご覧になれます。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/501/map.html) なお、次回は令和6年1月4日(木)に更新します。○ <u>令和5年第52週(令和5年12月25日(月)～12月31日(日))分については、令和6年1月9日(火)に公表予定です。</u> ※ 北海道感染症情報センターのHP更新は、1月10日(水)予定		
報道(取材)に当たってのお願い	道民へのインフルエンザの感染予防対策について、周知願います。		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)	
担当 (連絡先)	保健福祉部感染症対策局感染症対策課 (担当者: 山内) TEL ダイヤルイン 011-231-4111 内線 25-506		

道内のインフルエンザの流行状況について

令和5年12月28日(木) 15時00分

北海道保健福祉部感染症対策局感染症対策課
電話：011-231-4111(内線25-506)

道では、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)第14条に基づき、発生動向調査を実施しております。

令和5年第51週(令和5年12月18日(月)～令和5年12月24日(日))において、道内の定点医療機関から8,286症例の報告があり、定点当たり36.66となり、第46週から引き続き警報レベル(30.00以上)となりました。

今後とも、感染拡大防止に向け、予防対策に努めていただきますようお願いします。

記

1 定点当たり報告数

	第47週 (11/20～11/26)	第48週 (11/27～12/3)	第49週 (12/4～12/10)	第50週 (12/11～12/17)	第51週(速報値) (12/18～12/24)
全道	51.90	50.49	60.97	47.25	36.66
全国	28.32	26.74	33.73	29.94	集計中
昨年同期(道)	0.03	0.02	0.11	0.47	1.76

※1.00を超えると、流行期入りの目安とされています。

2 保健所別定点当たり報告数(第51週)

(単位：人)

保健所	報告数	保健所	報告数	保健所	報告数	保健所	報告数	保健所	報告数
札幌市	30.32	岩見沢	30.25	苫小牧	45.38	上川	30.33	北見	31.86
小樽市	38.00	滝川	52.83	浦河	26.00	名寄	31.80	紋別	55.40
市立函館	28.90	深川	74.00	静内	30.67	富良野	52.00	帯広	42.58
旭川市	34.62	倶知安	28.50	渡島	36.57	留萌	28.33	釧路	43.36
江別	35.25	岩内	73.50	八雲	41.00	稚内	17.00	根室	29.50
千歳	28.25	室蘭	69.38	江差	46.33	網走	28.20	中標津	47.00

※ インフルエンザ警報を発令中の保健所管内は30か所(上記太字下線あり/うち8か所は前週以前の警報発令後、解除基準を満たさず警報継続)です。

※ 全道のインフルエンザ流行状況は、北海道感染症情報センターのホームページでご覧になれます。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/501/map.html)

3 インフルエンザの感染拡大を防ぐための対策について

- できるだけ人混みを避け、外出から帰ったら必ず手洗い等をお願いします。
- 十分な栄養と睡眠を心がけ、人にうつさないためにも、発熱や咳等の症状が出た場合は、マスクの着用や咳エチケットに気をつけましょう。
- 適切な湿度(50%～60%)を保ちましょう。
- 感染が疑われる場合は、医療機関の受診をお願いします。

4 インフルエンザの注意報・警報

【発令基準】注意報：定点当たりの報告数が一週間で10人以上

警報： ” ” 30人以上

※ 警報発令後は、定点当たりの報告数が10人以上の場合に警報を継続し、下回った場合、警報は自動的に解除されます。その際の解除の発表は行いません。

※ 注意報・警報の発令は、各保健所毎に行います。

- ・ 注意報： 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。
- ・ 警報： 大きな流行の発生が継続しつつあると疑われることを指します。